

国対副委員長 核実験に対応

～二階委員長のもと外務担当に就任～

◆ 核実験～外務省審議官からの一報～

「北朝鮮が核実験を行ったようです。事実関係と政府の対応をご報告したいのですが…」

10月9日、外務省の総括審議官からの連絡に一瞬、携帯電話を握る手が震えた。今国会から、自民党国会対策副委員長に就任、外務委員会を担当することになった矢先に大きな出番がやってきた。その日は、お隣大阪9区補欠選挙の公示直前、連休最後の月曜日。私は茨木市で原田憲治さんの応援をしている最中だった。

土日は選挙応援に入りながらも、平日はべったりと国会に張り付くことになった。国会対策委員会についての詳しい説明は右下の注釈通りだが、いわゆる「コクタイ」は二階俊博委員長のもとに、総括副委員長、総括補佐のほかにも各委員会担当が置かれる。法案審議の順序や日程、野党との状況を勘案しながら、与党としての国会運営を決定するセクションだ。核実験の直後から、北朝鮮に対する経済制裁についての対応を迫られることになった。

◆ 経済制裁の承認を準備

経済制裁は対応措置から20日以内に国会に付議され、承認が必要になる。具体的には、①

「特定船舶入港禁止法」と②「外国為替及び外国貿易法」に基づく政府の制裁措置について、国会の承認を得るといふもの。

①については、すでに万景峰92号はわが国との往来が禁止されているが、これをすべての北朝鮮籍船に拡大するというもの。②は北朝鮮との貿易を基本的に禁止するもの。それぞれ外務省が深く関わる案件だが、それぞれ所管の国土交通省と経済産業省で行うことで調整した。



二階委員長の指示を仰ぐ松浪ケンタ
衆議院内の自民党国会対策委員長室にて

野党よりキツくやります 健康保険組合の不正を追及

厚生労働委員会で質問



「本件、誠に遺憾であります。ケンタの追及に柳沢厚生労働大臣は、さらに徹底的に厳しい指導によって事態の好転を図ることを約束した。」

「社会保障制度への信頼が揺らぐ中、改革を行う与党の側だからこそ、野党より厳しく追及をさせて頂きます」十月二十五日の厚生労働委員会で、十億円を超える横領事件を起こした「東京屋外広告ディスプレイ健康保険組合」が、事件後も不透明な運営を続けていくことを追及した。天下りの専務理事が横領事件を起こして逮捕された後も、理事会の承認なしに二億円も

の有価証券が売買され、理事長の不正選挙を行い、健康保険法施行後八十年で初めて改善命令まで出されている。ケンタが独自入手した内部文書からは、改善命令後も不透明な会計処理が判明。健康保険組合の会計ルールが法的に明確に定められていないことや天下りの問題も同時に指摘された。これに対し、「本件は誠に遺憾でありまして」と、柳沢大臣は厳しい対応を約束した。

【国会対策委員会とは】

各党にそれぞれ設置される機関で、自民党と社会党が固定的だったいわゆる「55年体制」の下では、国会の運営、方針を決定する影の主役だった。現在は、かつてのような水面下の取り引きという役割は薄れてきたが、法案をどのように通していくのか、各委員会をどのように連携させ運営するのか等が決められる。地味な仕事だが、与野党の攻防や、政府与党の意思決定がどのように行われるのかが毎日、手に取るようにわかるのが国対の醍醐味だ。

松浪健太

動画配信

※今回の質問の動画が衆議院のHPで公開されています。ケンタの公式HP→<http://www.kentakenta.com> より、直接リンクしておりますのでご覧ください。